

# 子どもの豊かな学びを支援するために「やれる・できる」ことから実践してみよう

## ～小さな取組から教育環境整備を児童と共に考える～

三春町立岩江小学校

主査 宗像裕美

### 1 はじめに

児童が、学校で使用するものが壊れてしまったり、なくなったりしたとしても、すぐには買える・買ってもらえる感覚があった。学校事務職員の立場から教育環境整備を行い、学校教育目標『豊かな子どもの育成』を達成するために何か手立てはないかと考えた。

本校では、これまで学校の教育環境整備を行う際、次年度の教育活動に必要なものなどの予算編成を教職員の意見のみ取り入れていた。しかし、児童に「学校にはどんなお金が使われているのか」「お金・ものの大切さ」を少しでも理解してもらいたいと考え、学校財務のこと、そして、環境教育の一環として、児童と共に取り組むことができないだろうかと思い考え、以下の取組を行った。

### 2 実践の内容及び方法等

#### (1) 学校施設・設備アンケート（子どもアンケート）

学校施設・設備アンケート（子どもアンケート）を5・6年生の児童対象に実施し、児童の「目の高さ」「生の声」を聞き集約することで、学校の要望の一つとして、次年度の予算編成資料として活用した。まずは、職員会議で教職員に学校施設・設備アンケート（子どもアンケート）について、目的と提案理由を説明した。



【アンケートを依頼している様子】

#### 〔目的と提案理由〕

- ① 児童から学校施設・設備についての意見を聞くことにより、学校という公共施設への関心を持たせ、施設や物を大切にする意識を育てる。
- ② 教育環境整備（ゴミの減量、リサイクルなど、様々な環境教育活動）に子どもの参加を促し、子どもに働きかけ、子どもが働きかえす環境づくりを推進したい。
- ③ 大人では見えない、子どもの「目」の高さで危険箇所等を把握することにより施設・設備の改善を図り、より良い学習環境を整える。
- ④ 児童の「生の声」を集約することにより、教育委員会へ学校の要望として伝えることができる。

学級担任に朝の会や学級活動の時間に協力を要請し、学校事務職員が直接教室に出向いてアンケートの依頼を行った。また、事前に児童に学校探検を行ってもらい、その後、ICT（GoogleForms・二次元コード等）を活用してアンケートを行った。アンケート結果は、予算編成の資料として教育委員会へ提出するとともに、「教育の日」11月1日にちなんだ子どもたちの育ちにかかわる人たちと学校財務を考える期間とし、また、11月1日～11月7日の「学校財務ウィーク」に合わせて、校舎内やホームページへ掲載するなど、児童や保護者にお知らせした。そして、学校運営協議会の方々にも資料として配付した。



【児童が学校探検を行っている様子】

 みんなの夢が育つ岩江小学校にするために  
～みんなで学校を見つめよう！～

**学校施設・設備についてのアンケート**

みなさんが、学校で勉強したり・遊んだりするときに、「こんなものがあつたらいいな」「ここは危ないから直してほしいな」と思うことはありませんか？  
学校の中をたん検して、どんな小さなことでもよいので、みなさんが思っていることをさがして、まずは書き出してみてください。

学校たん検：令和5年9月29日（金）まで  
学校たん検が、終わった児童は、下のQRコードをタブレットで読み取り、アンケートに答えてください。

**タブレットを使うときの約束（必ず守ってくださいね）**

- ・だまってタブレットを持っていかない。（必ず、先生にOKをもらってください。）
- ・アンケート入力が終わったら、「終わった」ことを先生に伝えて、タブレットを元に戻してください。
- ・他のアプリやサイトにはいきません。



アンケート回答期限：令和5年10月3日（火）まで  
※自分からいことがあれば、担任の先生や事務の宗像先生まで聞きに来てください。

学校たん検をして、気づいたところをメモしておこう！

名前 \_\_\_\_\_

①危険なところ

②新しくほしいもの

③その他に、気づいたところ

## 【学校施設・設備アンケート依頼文書】

## 【学校探検を行うメモ用紙】



## 学校財務ウィーク（学校施設・設備アンケート）

2024年11月1日 08時30分

「学校財務ウィーク」とは？教育の日（11月1日）にちなんで、子どもの育ちにかかわる人々と学校財務を考える期間として、11月の第1週（11月1日～11月7日）を「学校財務ウィーク」としています。

そこで、5・6年生に協力してもらい学校施設・設備アンケートを実施しました。その結果を5・6年生の児童のみんなには配付してありますが、全校生が見ることができるよう、学校施設・設備アンケートを職員室前に掲示しました。



## 【児童がアンケートを入力している様子】【学校施設・設備アンケートホームページにアンケート結果掲載】

**学校施設・設備についてのアンケート集計結果**

5・6年生のみなさん、学校施設・設備についてのアンケートのご協力ありがとうございました。岩江小学校は、昭和60年にオープンスペースの学校として整備されてから30年が経ちます。この記念が学校が、もっと良くなるように、みなさんからたくさん貴重な意見を届けてください。すぐく録かいてところまで見てくれているあと嬉しいです。

みなさんが届けてくれた意見をもとに、岩江小学校がもっと良くなるようにしていきたいと思っています。

なお、アンケート集計結果は、以下のとおりとなります。

●三善町（三善町教育委員会）へお願いするもの

- 学校（自分たち）でできるもの（または、直したりするもの）
- ・ちょっと難しいと思うもの（または、今のままで大丈夫なもの）

※その他

学校にあるものは、みんなのもの（三善町のもの）です。みんな一人ひとりが大切に持って、学校生活をしやすいうようにしていきたいです。

（○の部分は、意見を出してくれた人数です。）

【教室・スペース・ろうず】※「こんなものがあつたらいいな」「ここは危ないから直してほしいな」

●デコがコしているところがある。②（→場所を確認してありますね。）

●廊下のちよとした段差。①（→三善町教育委員会の職員等に届けてもらっています。危ないでずはカーペット敷いてあります。）

○廊下階段でてどとに階段がつく。①（→体育主任の先生に相談してあるね。）

・梯がっちゃうい。①

・砂場の仕切りを持ってほしい。①

（→学校のは、砂場ではなく走り幅跳びを行う場所です。砂が飛ばないように、また、動物にフン等されないようにシートをかぶせました。）

※プランコがデココウるさい。①

※うんでいて二善町が落ちるとケガをして危ない。②（→体育主任の先生に相談してあるね。）

【その他】※（学校へのお願いや、何でもかいてね。）

●中庭の緑の部分がぼろぼろになっていた。直してほしい。③

（→緑のマットが割れて危ないので、三善町教育委員会へお願いしています。）

先生たちの目録では、気づかなかったところをたくさん見てくれて、しかも、貴重な意見を届けてくださいました。みなさんが届けてくれた意見について、全部答えることができませんが、届を責うにも、全てにおいて、人・もの・お金・時間・思いの5つの要素が必要となるので、覚えておいてください。また、一つでもかえらるよう考えていきたいと思っています。みなさんが助言できるよう、より良い環境を作っていきたいと思っています。

**お知らせのしるし**

4Rってなあに？

Refuse: Refuse (断る)  
Reduce: Reduce (減らす)  
Reuse: Reuse (再利用)  
Recycle: Recycle (リサイクル)

この様に、また届が気づいたことがあれば、事務の宗像先生に届けてください。みなさんの意見で、この自分たちが学んでいる岩江小学校を、もっと良い学校、そして、みなさんの力で学校をきれいにしていきたいです。

## 【学校施設・設備アンケート集計結果一部抜粋】



## (2) 事務だより「かわら版」(児童向け) 発行

学校の授業で、児童が使用するものを購入したり、ものが壊れて直したりなど、児童に「学校ではどんなお金が使われているのか」「お金・ものは大切」また、「5つの要素」が必要であることを記事にした事務だより「かわら版」(児童向け)を発行した。

そして、「5つの要素」とは、「人・もの・お金・時間・思い」であり、このほかにも「情報」が加わる場合もある。児童には、修繕の例をあげて伝えた。

- ①人・・・直してもらうために、お店に連絡をしたり直しに来てくれる。
- ②もの・・・直すために、部品が必要。
- ③お金・・・部品だけでなく、人件費もかかる。
- ④時間・・・②「もの」・③「お金」だけでなく、直すには時間もかかる。
- ⑤思い・・・学習するのに使っていて壊れてしまうのは仕方ない。しかし、ふざけて壊すのは絶対にダメ。

学校で児童が使っているものは、全て町のお金が使われていることや、ものを直すのには上記の「5つの要素」が必要であること、そして、次に使う人のことも考えて、ものを大切に使うしてほしいことなどお知らせした。また、1年生でも読めるよう全ての漢字にルビ(ふりがな)を付けたり、写真を大きく使用したり、SDGsのロゴマーク、学校のシンボルキャラクターなども挿入し、子どもたちが楽しく読めるよう工夫した。そして、児童が安全・安心に学校生活が送れるよう取り組みを紹介し、これらは、校舎内に掲示したり、ホームページに掲載することで、保護者の目にも触れることができる機会をつくった。そして、学校運営協議会に資料として配付した。

事務だより(児童向け)

# かわら版

2022.11.14発行 沼江小学校 音楽科(文責)

## 学校の環境教育整備①

5・6年生の児童のみなさんに、学校で勉強したり遊んだりするときに、「こんなものがあたらしいな」「ここは危ないから直してほしいな」などのアンケートを行いました。

その中で、音楽室のハスマスターを直してほしいという意見がありました。音楽室に行ってみるとビックリです。



鍵盤が1本上がっていました。新しいものはすぐに買うことが出来ないし、4年生が3学期音楽祭で使います。すぐにお店に連絡して、直してもらえようお願いします。下の写真のように、直してもらうまでは、どんなことがありますか？



【どんなことがあるか考えてみよう！】

- ①人・・・直してもらうために、お店に連絡をしたり、直しに来てくれる。
- ②もの・・・直すために、部品が必要です。
- ③お金・・・部品だけでなく、人件費もかかります。
- ④時間・・・②の「もの」や③の「お金」だけではなく、直すためには時間もかかります。
- ⑤思い・・・練習するのに使っていて壊れてしまうのは仕方ないです。ふざけて壊すのは絶対にやめてほしいです。また、次に使う人のことを考えてほしいと思います。

上記のように、直すためには①～⑤の「人・もの・お金・時間・思い」5つの要素が必要です。例えば、「人」がいなくても「もの」がなければ直せません。「もの」があっても「お金」がなければ直すための「もの」を買うことが出来ません。何か1つでも欠けてしまうと直すことが出来ないで、学校施設・設備については大切に扱ってほしいと思います。ちなみに、今回は、鍵盤1本ですが、1本だけの交換では済まず、鍵盤一式の交換となりました。いくらかかったでしょうか？ **17,270円(税込み)** かかりました。(3学期からの学校予算で直しました。) もし、鍵盤の部品がなければ、新しくするのは、**約185,000円** かかります。そんな簡単に買うことは出来ません。大切に使いましょう。



事務だより(児童向け)

# かわら版

2024.6.12発行 沼江小学校 音楽科(文責)

## みんなの安全・安心が第一です

5月の事務だよりで沼江小学校で使えるお金のお話をしました。今回は、そのお金の平から、児童のみなさんが安全に学校生活を送れるように下記のように取り組んでいます。児童のみなさんがケガをしないよう楽しく学習して学校生活を送ってほしいと思います。

まず1つ目は、昨年度の5・6年生に協力してもらい実施した子どもアンケートの結果から、1年生教室スペースにある本棚の角が危ないため、コーナーガードを付けました。



本棚の角 (Before) → 本棚の角 (After)

全部の角に「コーナーガード」アクションのようなものを付けました。

2つ目は、校庭果樹園プール脇にあるビオトープの跡地です。この場所は、毎年ケガをしている人がいます。児童のみなさんがケガをしないで帰ります。先日、体育担当の先生から全校児童に放送がありましたね。「この草には入らないでください。ここには遊びません。」学校のまわりを歩くと楽しく校庭や遊具で遊んでください。



ビオトープ跡地

## 課題図書・新しい本が入りました

今年度も3学期の図書商品の予算で課題図書を購入しました。低学年(1・2年)・中学年(3・4年)・高学年(5・6年)用として、各学年に1冊ずつ新しい本を配置しましたので、ぜひ読んでみてください。夏休みの宿題で読書感想文コンクールがあると思います。



課題図書(低・中・高)

また、学校では本が壊れてしまったりすると、「本のびょういん」があります。一冊一冊テープを貼って直してきています。大切に使いましょう。



【事務だより「かわら版」(児童向け) 発行の一部】

## 事務だより「かわら版」 みんなで考えるお金の話

2025年1月24日 16時00分

令和7年1月17日（月）に5年生が家庭科の授業で、明治安田生命の方より消費者出前講座で金銭教育の授業を行っていただきました。今回の金銭教育は、5年生以外の児童のみなさんにも知っていただきたい、事務だより（児童向け）「かわら版」にてご紹介させていただきます。

4つの項目について、「契約」「お金の使い方」「計画的なお金の管理」「消費者トラブル」について、簡単に記事載せてありますので、お子さんと一緒にお金について考えてはいかがでしょうか。

事務だより（児童向け）



# かわら版

2025.1.24発行 星江小学校 児童館（文責）



## 「みんなで考えるお金の話」

令和7年1月17日（月）に5年生が家庭科の授業で、明治安田生命の方より消費者出前講座で金銭教育の授業を行っていただきました。5年生以外のみなさんも、これからお金を使って買い物をしたりすることがあると思うので、覚えておくことが大切です。

それでは、「みんなで考えるお金」として、4つお話をいただきました。一つ目は、「契約」です。「契約」は、買い物をするとき買い手が「買いたい」と意思を表し、売り手が承諾する意思を表したときに成立します。二つ目は、「お金の使い方」です。買いたいものがあるとき、必要とほしいものに分けて考えてみてください。また、ほしいと思うものがいま必要なかどうか、お金には限りがあるので、使い道を考えることも大切です。3つ目は、「計画的なお金の管理」です。上手にお金を使うためには計画を立てることが大切です。収入（入ってくるお金）と支出（使うお金）のバランスが取れているか確認することが大切です。4つ目は、「消費者トラブル」です。児童のみなさんもゲームや音楽・動画配信サービスを利用したことはありますか？そこで、お金を払って特別なサービスを受ける「課金」を利用したことがある人もいますが、年々、小学生のトラブルが増えています。トラブルが起きてからは、大変になります。もし、課金サービスを使いたいときは、おうちのひとや大人のひとと相談やルールを決めて行うようにしましょう。

【まとめ】使うお金には限りがあります。それを使うときには、本当に必要なのか、買う前に計画的に考えましょう。そして、小学生は、知らない間に課金をしてしまうことがあるので、気をつけましょう。

【事務だより「かわら版」（児童向け）ホームページ掲載の一部】

### 3 実践の成果と課題

学校の教育環境整備を考えるため、学校施設・設備アンケート（子どもアンケート）、事務だより「かわら版」（児童向け）発行の2つの実践を通し、見える化・情報発信・啓発活動を行うことで、児童・保護者・教職員とのコミュニケーションツールの一つとして活用することができた。そして、児童を対象とした学校施設・設備アンケート（子どもアンケート）集計結果を教育委員会に予算編成の資料の一部として提出した。教育委員会担当者からも「子どもアンケートに直してほしいと要望が出ているため、今回、修繕したいと思います。」との回答など、教育環境整備において一定の結果を得られることもあった。また、児童からも「学校がきれいになるのが楽しみです。」と嬉しい声があった。そして、学校で使われている全てのものに「お金」が使われていることや「お金・ものの大切さ」、教育環境整備に「人・もの・お金・時間・思い」の「5つの要素」が欠かせないことを理解してもらえたことは大きな成果としてあげられる。その他にも、ICT（GoogleForms・二次元コード等）活用により、ペーパーレス化やアンケート集計作業においても時間短縮につなげることができたことは、成果の一つである。

今回の実践は、管理職や教職員の理解と協力の下で実践することができた。学校事務職員一人の力だけではできないことを改めて感じた。「チーム学校」の一員として、教育環境を良いものにしていくために、また、学校組織における唯一の総務・財務に通ずる専門職として、今後も児童と共に継続的に「学校にはどんなお金が使われているのか」「お金・ものの大切さ」を少しでも理解してもらえよう、児童の声に耳を傾けながら学校教育目標『豊かな子どもの育成』に、主体的・積極的に取り組んでいきたい。